

部局名	安全環境部	所属名	清掃センター	所属長名	笠川 博明	電 話	483-4521
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3238		事務事業名称	浸出水処理施設管理事業					短縮コード	経常	3238	臨時	3239
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
第2次最終処分場設置に伴い処分場からの浸出水を適正に処理するための処理施設の維持管理を行う事業。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして						
水質規制項目の追加や規制の強化。機械設備の劣化に伴う修繕費用の増加					大項目（節）	03	環境・衛生						
					中 項 目	02	ごみ処理						
					小項目（施策）	02	環境に配慮した適正なごみ処理の推進						
					細 項 目	02	焼却施設等の整備						
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	浸出水							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： ・水処理に必要な消耗品の購入 ・機械設備の修繕 ・流入水，放流水の水質調査							
	※平成20年度に計画していること： 水処理に必要な消耗品の購入，機械設備の修繕，流入水，放流水の水質調査							
意図 （何を狙っているのか）	現施設の適正管理を行い浸出水の処理に万全を期す							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	浸出水	m 3	30,768	29,200	29,985	29,200	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	処理水量	m 3	21,446	29,200	22,069	29,200	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	放流水の基準超過数	回	0	0	0	0	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3238	事務事業名称	浸出水処理施設管理事業				所属名	清掃センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			浸出水の処理及び放流水の水質管理が主な業務であり、浸出水処理施設は継続していく必要があるため。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			浸出水の処理及び放流水の水質管理が主な業務であり、浸出水処理施設は継続していく必要があるため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特に無し									

所属長コメント	施設が廃止できるまでは必要な業務である。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									